

学校教育目標		自分のよさを自覚できる自信にあふれた児童の育成		重点目標	確かな学力(学習意欲、知識・技能、思考力・判断力・表現力)を身につけた児童の育成 ～自尊感情の育成と生活習慣の育成を基盤として～			
評価計画				自己評価		学校関係者評価		改善計画
重点目標	重点目標	目標達成のための方策 (取組指標)	成果の根拠となるもの (成果指標)	評価	結果(成果と課題)	評価	コメント	次年度における改善策
②天道っ子タイムでの国語の基礎・基本の定着	C)市販テストの正答率平均以上 90%以上	3	A					
③天道っ子タイムでの算数の基礎・基本の定着	C)市販テストの正答率平均以上 90%以上	3	A					
④算数における見通しや振り返りの位置づけ	C)見通しや振り返りのできる子ども 90%以上	3	A					
⑤国語と算数では、自分の考えを書いたり、持ったりする時間の確保	C)ノートに自分の考えを書くことができる子ども 90%以上	3	A					
⑥自分の考えを発表する時間の確保	CT)自分の考えを発表(説明)できる子ども 90%以上	3	B					
【豊かな心の育成】 ○生徒指導 ○自尊感情育成 ○人間関係力	⑦気持ちのよい挨拶(進んで・聞こえる声で)に取り組む	C)気持ちのよい挨拶ができる子ども 90%以上	3	◎挨拶は、概ね出来るようになってきている。 ◎道徳の時間は計画的に出来ている。 ●道徳の副読本だけでなく、「心のノート」の活用の充実を図る必要がある。	A	○挨拶には個人差があり、日曜日等に自分から挨拶をしてくれてとても気持ちがいい時もあるが、地域の中では大人から声をかけてはじめて返事が来ることが多く見られる。 ○児童数が少ない中では、異学年との交流は必然だと思うので、楽しく活動出来ていることが何よりです。	○挨拶は、「何時でも・何処でも・誰にでも」出来るようになるよう、家庭と連携して指導を強化していく必要がある。 ○掃除等にも縦割り活動を積極的に取り入れて行く中で、高学年児童の責任と自覚を育てて行く。 ○道徳の授業研究会を実施し、人間関係づくりについての研修の充実を図る必要がある。	
	⑧道徳の時間の確実な実施	T)計画的な実施による標準時数の確保 100%	4		A			
	⑨縦割り活動、交流活動の充実	C)楽しく活動している子ども 90%以上	4		A			
	⑩「心のノート」の積極的活用を図るために週案に記入する	T)週案による計画・学期3回以上の活用	2		B			
【健やかな体の育成】 ○体力、運動能力	⑪休み時間の外遊び奨励・遊ぶ日・放送・G遊び	C)外遊びをする子ども 90%以上	3	◎寒くても、元気に外遊びをしている子どもたちもいる。 ●柔軟性を育てるため、大牟田っ子ストレッチを取り入れる必要がある。	A	○先生方の伸び伸びと育てる教育方針の効果が出ている。 ○係活動をしている子ども達への工夫が出来ないだろうか。	○中休みの業間運動として、児童の実態に応じた様々な運動を取り入れ、児童の体力の基礎を育てる必要がある。	
	⑫体力テストを生かした体育科学習	T)児童の実態に考慮した準備運動や活動内容の質と量の確保	4		A			
【基本的生活習慣】 ○学校生活 ○家庭生活	⑬チャイム席やチャイム移動の徹底・率先垂範・事前、事中事後指導	C)チャイム席ができる児童 90%以上	3	◎家庭学習や「早寝・早起き・朝ご飯」は、概ね定着してきている。 ●学習用具や家庭学習等の忘れる子どもの固定化が見られるので、家庭と連携して取り組んでいく必要がある。	A	○学校では出来ているが、家では出来ていない等、逆も時々ありますが全体的に良いと思います。 ○いつも登校時間にも遅れてくる子どもがいるが、時間に間に合ったとしても、みんなとの集団登校の中から学ぶこともあると思うので、家庭との連携を大切にしたい。 ○家庭との連携がうまくとれているので、保護者アンケートにもプラスの面が多く出ていると思います。中学校も家庭学習定着の為、連携していきたい。	○学習規律の定着についての共通理解を図るとともに、肯定的な評価活動を積極的に取り入れながら、全校で計画的に取り組んでいく。 ○誘い合い登校の集合時刻や場所等についての指導を徹底するとともに、登下校時の児童の安全確保について、保護者・地域と連携して取り組んでいく。	
	⑭時間を守って、黙って掃除をする。	C)黙って掃除ができる子ども 90%以上	3		A			
	⑮学習用具や家庭学習の忘れ物の減少に取り組む。	C)前日に学習準備ができる子ども 90%以上 ※CPアンケート	3		A			
	⑯家庭学習カードを実施し、家庭学習時間の確保を図る。	C)家庭学習の定着している子ども 90%以上 ※CPアンケート	3		B			
	⑰早寝早起き朝ご飯の取り組みを啓発し、定着させる。	C)早寝早起き朝ご飯ができる子ども 90%以上 ※CPアンケート	3		A			

◇ 評価について ・【自己評価】 4：目標達成(90%以上) 3：ほぼ達成(70%~90%) 2：もう少し(60%~70%) 1：できていない(60%未満)  
 ・【学校関係者評価】 A：自己評価は適切である B：自己評価はほぼ適切である C：自己評価はあまり適切ではない D：自己評価は不適切である